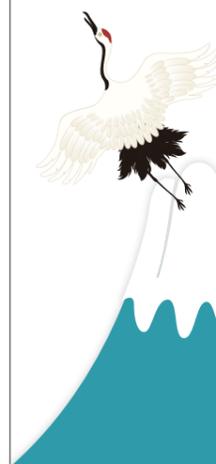


コレマデの軌跡、  
コレカラの奇跡



岩手の冬を沸かせた  
県を制した一関勢

2015年、冬。今年も一関勢がスポーツ界を沸かせた。第66回全国高校駅伝岩手県予選会では、一関学院高校陸上競技部が21年連続で優勝。バスケットボール第46回全国高校選抜優勝大会(ウインターカップ)県予選では、一関学院高校女子バスケットボール部が3連覇を果たした。第68回全日本バレーボール高校選手権大会(春の高校バレー)県予選会では、一関修紅高校男子バレーボール部が4年連続で優勝し、全国大会への切符を手に入れた。

東北社会人サッカー2部リーグへの昇格が決まった。(本紙27ページで紹介)

そのほか、水泳チーム・一関シールズに所属する菅原和也さんは、イーハトーブマスタース水泳盛岡大会の400m自由形25〜29歳区分でマスターズの日本新記録をマーク。立谷大祐さんは、和歌山県で開かれた第15回全国障害者スポーツ大会水泳競技の水泳肢体不自由者男子1部50mバタフライで金メダルを獲得した。

**数々のドラマが待つ  
2016年は国体イヤー**

2016年、国内最高峰のスポーツ大会がやってくる。「希望郷いわて国体」と障がい者スポーツの祭典「希望郷いわて大会」だ。

国体の開催に向けてそれぞれの競技力を高めるため、第71回国民体育大会強化委員会では、県強化指定クラブ、私立高校重点強化校や特別強化選手強化選手を選定。市内からも多くのチーム、高校、選手が選ばれ、日夜練習に励んでいる。

離せない。

**これまでの軌跡は  
これからの奇跡へ**

一関には、全国や世界を舞台に活躍するアスリートがいる。その輝かしい功績の裏には、地道な努力や涙がある。彼らにとって、奇跡は起きるものではなく起こすもの。ひたむきに努力してきた軌跡は、必ず奇跡へとつながるだろう。



ウインターカップ県予選で3年連続7度目の優勝、全国へ  
一関学院高校 女子バスケットボール部

監督 山田繁  
主将 菅野志帆  
部員 42人



Interview



山田繁 監督  
Shigeru Yamada

チームを率いて24年目。1年生に長身の選手が加わり、高さも備わった。今年は、前年を超えようとするチームです。強みは、ずばり主将の菅野。メンタル面をサポートして目標のベスト8を達成できるチームに仕上げたい。国体強化選手11人の活躍にも期待したい。



菅野志帆 主将  
Shiho Kanno

小学3年からバスケットボールを続けています。大船渡市の末崎中から一関学院に入学。3年連続でウインターカップに出場できてうれしいです。今回は、私たち3年生にとって最後の大会。悔いのないプレーをするため、リバンドとボックスアウトを重点的に強化します。

が試合のペースをにぎったまま試合終了のブザーが鳴った。スコアは92対65で快勝。念願の県王者の座とウインターカップ出場権を獲得した。

1、2年生が主力のチームで要になるのは、主将の菅野志帆さん(3年)。わかやま国体でも県選抜チームのキャプテンを務めた彼女が、プレーとメンタルの両面でメンバーを支える。

26年に引き続き、2度目のウインターカップに挑む菅野さんは「ウインターカップは、私たち3年生にとって最後の大会。3年間教えてもらったすべてを試合で発揮したい。目標はベスト8」ときっぱり。大会に向け、最大筋力の向上に重点を置き、1人あたり3〜5kgの体重増を目標にウエイトトレーニングと体幹トレーニングに励んでいる。

ウインターカップは、12月23日から東京体育館で開催。各都道府県予選を勝ち上がった50校が出場する。同校は、23日に岐阜県立岐阜商業高校と対戦する。  
\*27年11月26日に取材

昨年11月1日に一関市総合体育館で開かれた第46回全国高校選抜優勝大会(ウインターカップ)県予選で、一関学院高校が3年連続7回目の優勝を果たした。

同校は、国体の私立高校重点強化校で、チームには国体強化選手11人が所属。昨年4月、175cm、180cm、190cmの1年生が入部し、平均身長は168cm。伝統のスピード感あふれる攻撃に加え、高さが備わった。

新メンバーで調整を重ね、挑んだ高総体。対盛岡白百合との決勝戦では、両者一步も譲らない攻防戦を繰り返した。70対63で勝利をつかんだのは盛岡白百合高校。メンバーは、悔し涙を飲んだ。

新人戦、高総体と優勝を逃した一関学院。ウインターカップにかける思いは、どのチームよりも強かった。持ち前の高さに加え、スピードもあるチームに仕上げ、県予選に臨んだ。

決勝の相手は、盛岡市立高校。一関学院は、第1クォーターから高さでシュート力を生かしてゴールを量産。中盤以降も、一関学院



1\_山田監督が「仕上がりは上々」と語る今回のチーム。毎日の練習は、平均3時間半。基本の練習にも、力を入れる/2\_最大筋力を上げるため、体幹トレーニングに取り組む部員たち/3\_ウエイトトレーニングに取り組む部員たち。目標は、1人あたり3〜5kg増